

額田活性化プロジェクト2030(NAP2030)



▲NAP2030リーダーの宮崎さん

NAP2030は、2030年の将来を見据えて、額田地区をより良い地域にしたいとの思いから、2021年（令和3年）にスタートした住民主体のプロジェクトです。実効性のある活動を展開していくため、①額田城跡の活用、②新ブランドの開発、③歴史・文化の伝承の3つのテーマを設定し、一年ごとの計画を明確化したロードマップを作成しました。

計画に基づいた活動が実を結び、おすすめ散策ルートをもとめた『額田散策マップ』の発行、JR東日本主催の『駅からハイキング』への協力、お花見を兼ねた『額田なんでも市』の開催など、数々の成果が得られています。また、将来を担う若い世代とのかわりを増やすことが重要と考え、小学生を対象とした『額田の歴史授業』や、祭り囃子の伝承活動などにも取り組んでいます。

活動内容

- ・ 額田城跡の整備・観光パネルの設置検討
- ・ 散策マップの発行・ウォーキングの開催検討
- ・ 額田新ブランドの検討・商品化試行
- ・ 額田なんでも市場の開催
- ・ 額田ふれあい祭りへの協力 など

活動写真



▲プロジェクト設立時の検討の様子

額田地区まちづくり委員会
額田地区まちづくり委員会
www.city.nakagawa.nagano.jp

活動の楽しさ・やりがい

額田地区まちづくり委員会の委員長を務めていた2021年当時、少子高齢化により小学校の存続も危ぶまれる中で、元気あるまちにしたいと考え、このプロジェクトを始めました。まちづくりの成果は1、2年で出るものではなく、活動の先が見えないとモチベーションの維持が難しくなります。そのため、事業をロードマップ化し、継続的に改善していくことが大事だと考えています。

額田地区の強みとして、歴史的資産が多く存在することや、住民の地元愛が強いことなどが挙げられます。地域のさまざまな人や物を巻き込みながら、みんなが参加したくなるような『楽しいまちづくり』をこれからも続けていきたいと思います。